

S/F REAL4

Q&A

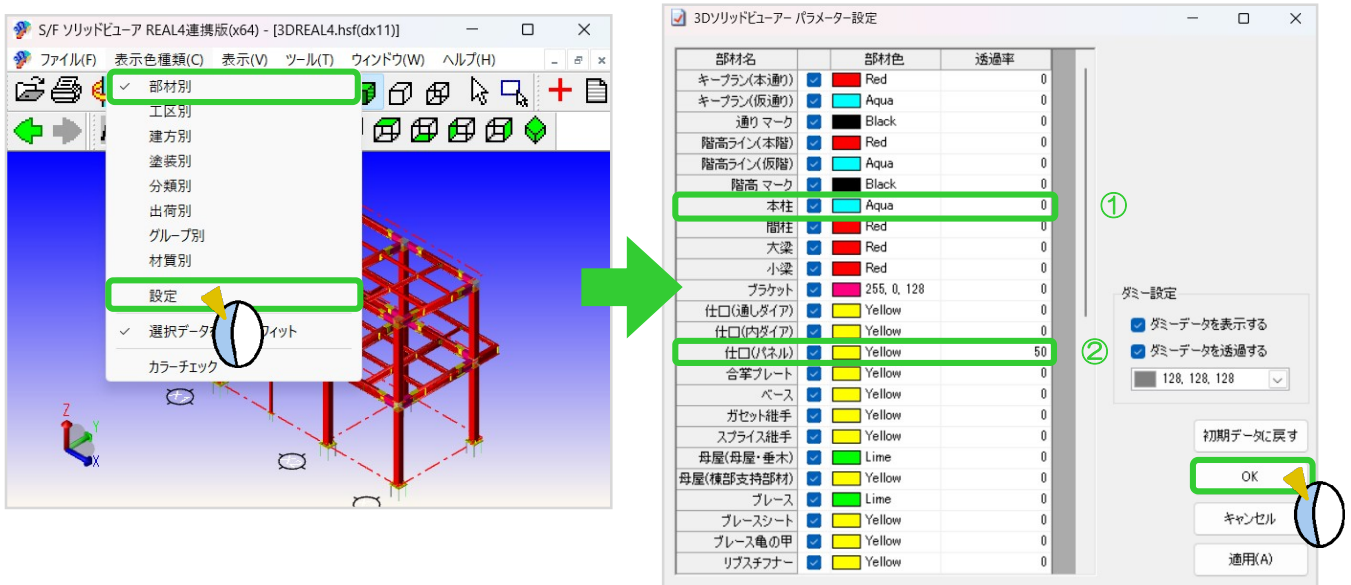
 あいホールディングスグループ 
株式会社 **ドットウェル** ビー・エム・エス

DATA LOGIC

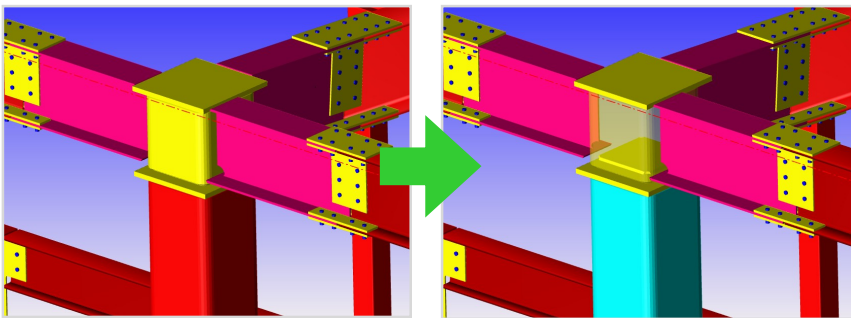
3DViewerで表示される部材の色を変更したい！

3DViewer の表示色種類から設定できます。

より【3DViewer】を開き、【表示色種類】 - 【部材別】に☑を入れ、【設定】をクリックします。
 パラメーター設定画面が開くので、部材色や透過率を任意の色や数値に変更します。
 変更後、OKをクリックし、画面を閉じると変更した内容を確認することができます。



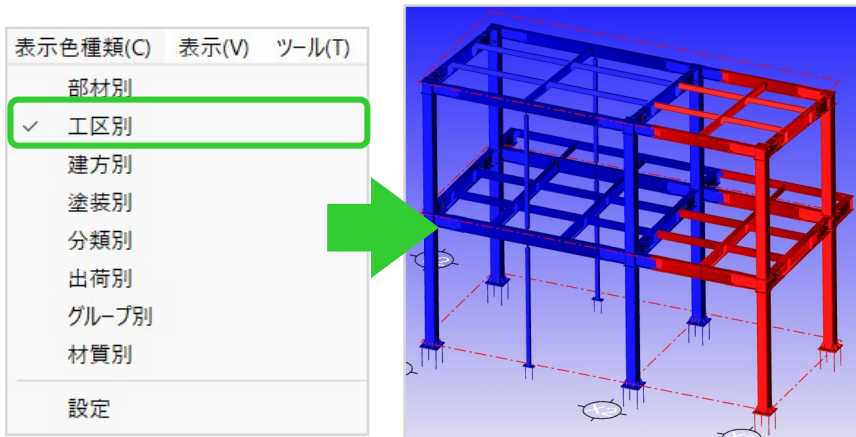
例) ①本柱の部材色を Red から Aqua へ、
 ②仕口 (パネル) の透過率を 0 から 50 へ変更。



仕口の内ダイヤなどを確認したい時は、仕口(パネル)の透過率を設定してください。

その他【表示色種類】では、下記項目別の設定も可能です。

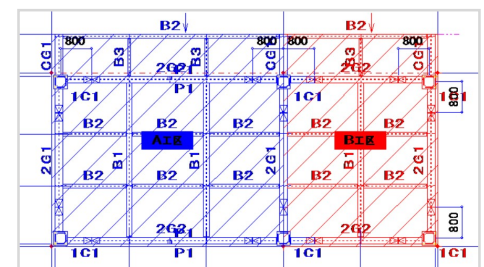
例) 【工区別】に☑を入れた場合



工区別～グループ別は【工区・塗装】タブより事前に設定が必要です。



例) 工区設定後の 2SL 階平面図



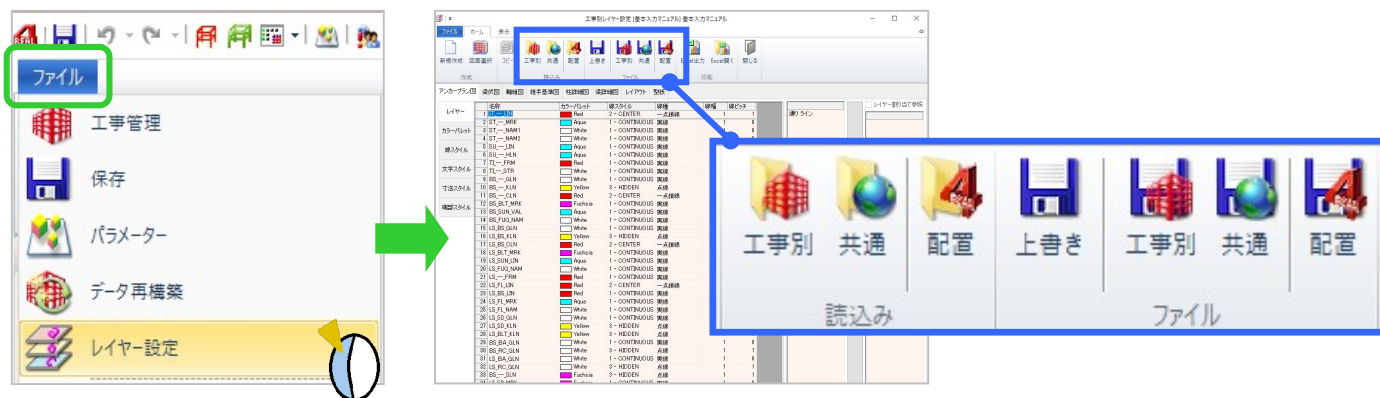
※材質別は 3DViewer の設定から表示色を設定してください。

レイヤーの読み込み方法や保存方法を知りたい！

レイヤー設定で読み込みを行い、他工事で使用することが可能です。

レイヤーは【工事別】【共通】【配置】それぞれで読み込み、保存をすることで他工事でも使用することができます。

【ファイル】-【レイヤー設定】をクリックすると、読み込みのコマンドとファイル（保存）のコマンドがあります。



<読み込み>

<ファイル> (保存)



選択中の工事データで使用している図面出力時のレイヤーを読み込み、表示します。



【工事別】【共通】【配置】等の現在読み込んでいるレイヤー設定に上書き保存をします。



初期レイヤー設定や、名前を付けて保存した図面出力時の設定を選択し読み込むと、表示します。



読んでいるレイヤー設定の内容を選択中の工事データの図面出力時のレイヤー設定として保存します。作図後にレイヤーを変更した場合は再作図が必要です。



現在、配置画面（入力画面）で使用しているレイヤー設定を読み込み、表示します。配置画面（入力画面）での線色や文字サイズなどを変更することができます。



読んでいるレイヤー設定の内容を既存の共通レイヤーを選択し上書き保存または、名前を付けて新規保存をします。



読んでいるレイヤー設定の内容を配置画面（入力画面）で使用するレイヤーとして保存します。
※配置画面（入力画面）上での設定となるため、工事ごとでは保存されません

現在読み込んでいるレイヤー設定は画面上に表示されます。



共通・工事別の違いは、Q&A集 Vol.20-2『作図パラメーター等にある「上書き」「工事別」「共通」の違いは？』を参照してください。

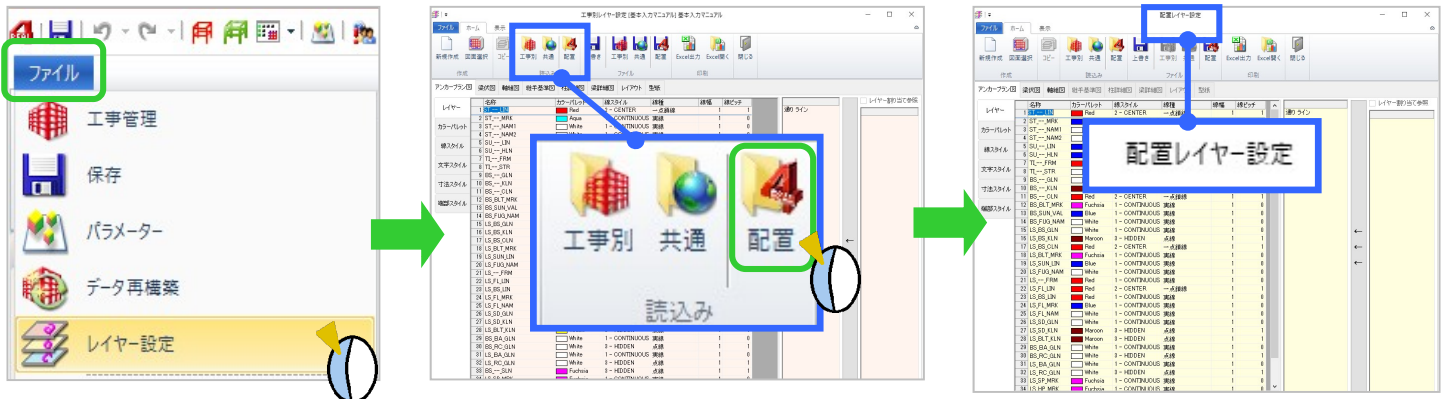


共通保存した設定を工事作成時に選択したい場合は、Q&A集 Vol.31-2『共通保存したパラメーターを工事作成時に選択したい！』を参照してください。

配置画面上での線色を変更したい！ レイヤー設定で現在の配置画面の設定を読み込み、保存します。

例) 配置画面のレイヤーを読み込み、配置画面（梁伏図）上でのみ小梁の色を変更したい場合

【ファイル】 - 【レイヤー設定】を開き、現在の配置画面のレイヤーを読み込むため、【配置】をクリックします。



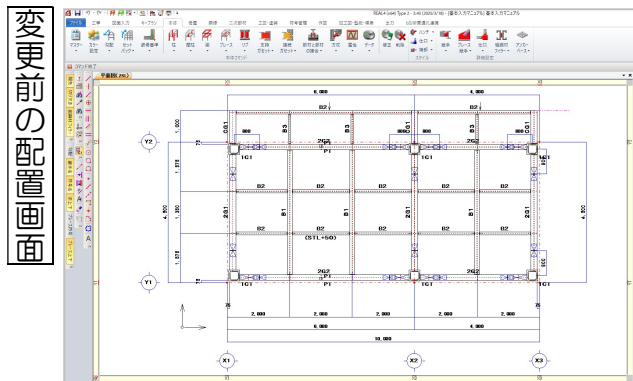
【梁伏図】 - 【レイヤー】 - [35.B_--_GLN (小梁外形線)] の色を例として White から Orange へ変更します。
配置画面のレイヤー設定に保存するため、【配置】をクリックし、保存します。



レイヤー名称が英語表記でわかりにくい場合は右側の「割り当て」で確認できます。

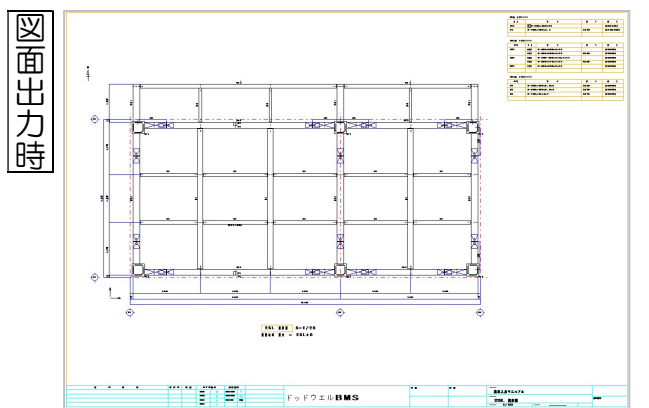
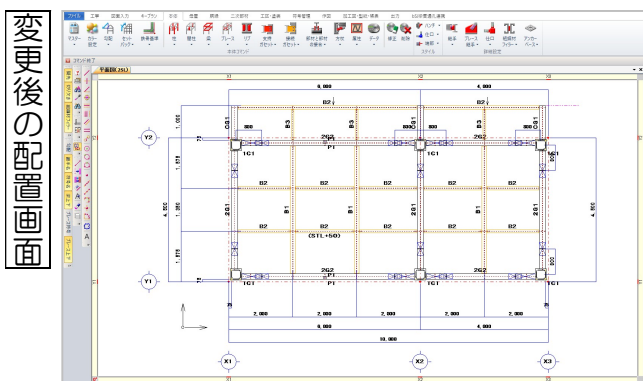
レイヤー	名称	カラーパレット	線スタイル	線種
34	G_PL_NAM	White	1 - CONTINUOUS	実線
35	B_--_GLN	Orange	1 - CONTINUOUS	実線
36	B_--_KLN	Maroon	3 - HIDDEN	点線
37	B_BL_CLN	Red	2 - HIDDEN	点線

The '小梁外形線' (Small Beam Outline Line) is highlighted in the table.



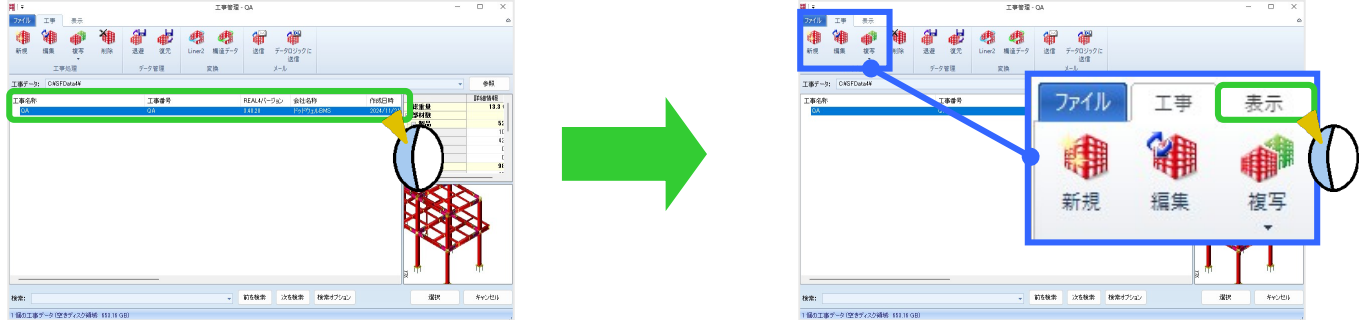
配置レイヤーはアンカープラン図、梁伏図、軸組図のみ、変更可能となります。

アンカープラン図 梁伏図 軸組図 継手基準図 柱詳細図 梁詳細図 レアウト 型紙

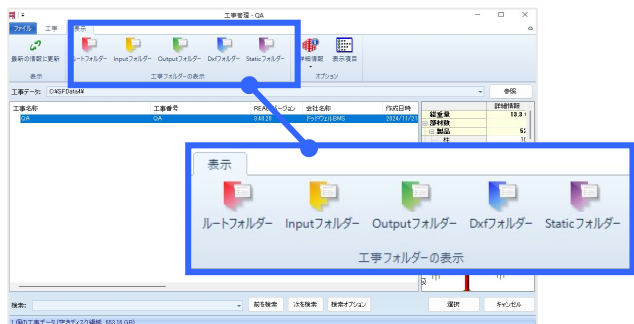


作図した図面の保存先を知りたい！ 工事管理から保存先を確認できます。

【工事管理】で確認したい工事データを選択後、【表示】を選択します。

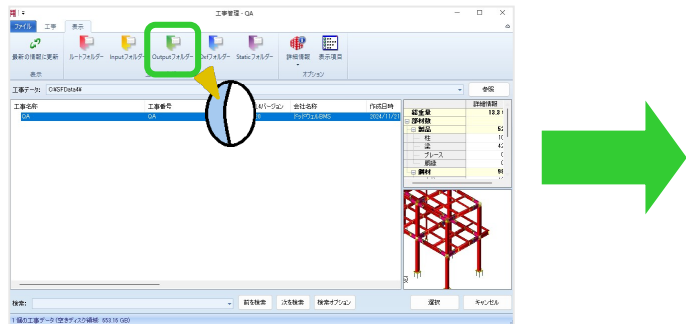


現在選択している工事の各フォルダーを確認できます。



(例)F5/F6x 形式で出力した一般図の保存先を確認したい場合

【表示】 - 【Output フォルダー】を選択すると、一般図の保存先(Output)に移動します。



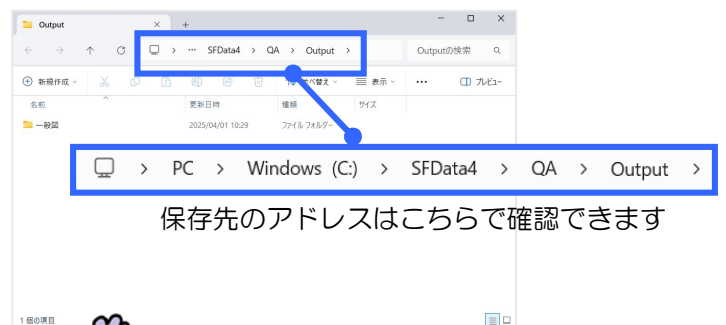
各フォルダーに保存されているデータは、【ルートフォルダー】選択した工事フォルダーを開きます。

【Input フォルダー】入力内容、工事別のパラメーターなどの設定が保存されています。

【Output フォルダー】F6x/F5/Excel など出力したファイルが保存されています。

【Dxf フォルダー】DXF/JWW など出力したファイルが保存されています。

【Static フォルダー】データ処理や型紙データが保存されています。



保存先のアドレスはこちらで確認できます

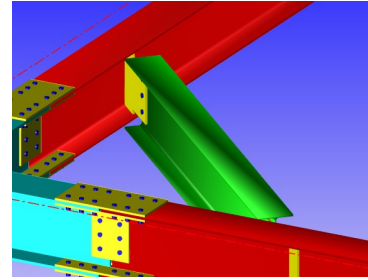
図面作図時に保存先を確認したい場合は【作図】 - 【図面一覧出力】 - 【画面表示】からも保存先と作図図面を確認することができます。



SF システムメニュー下に表示されている工事番号または工事名称をダブルクリックすると工事フォルダーが開きます。



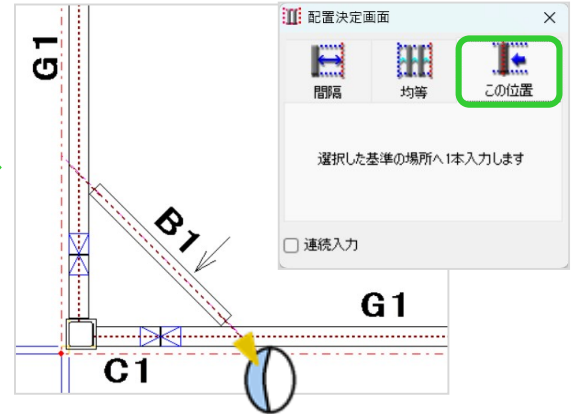
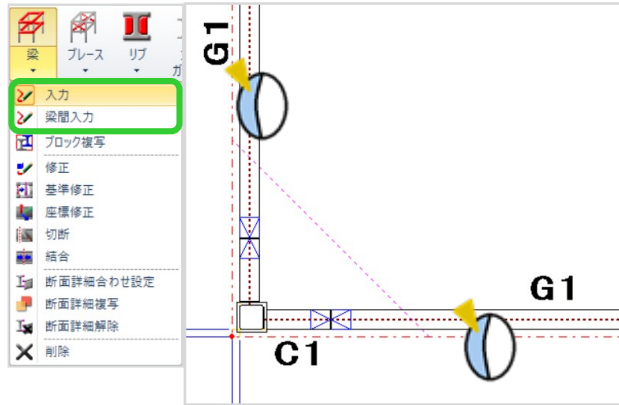
火打ち梁を入力したい！ 補助線を引いて入力できます。



火打ち梁を配置する位置に基準となる補助線を引きます。

【梁】 - 【入力】 または 【梁間入力】 を選択して
火打ち梁が取付く梁をそれぞれクリックします。

【この位置】 を選択して補助線をクリックします。

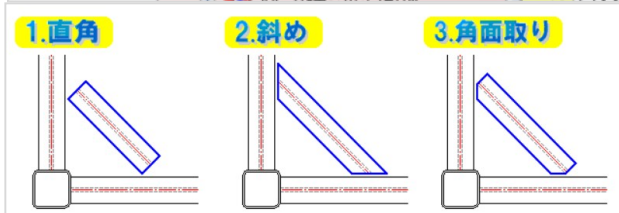


斜めに取付く梁の端部形状はパラメーターで設定されています。

<一括で設定したい場合>

【ファイル】 - 【パラメーター】 - データ作成-37.柱、梁作成関連-43.梁フランジ端部 で設定します。

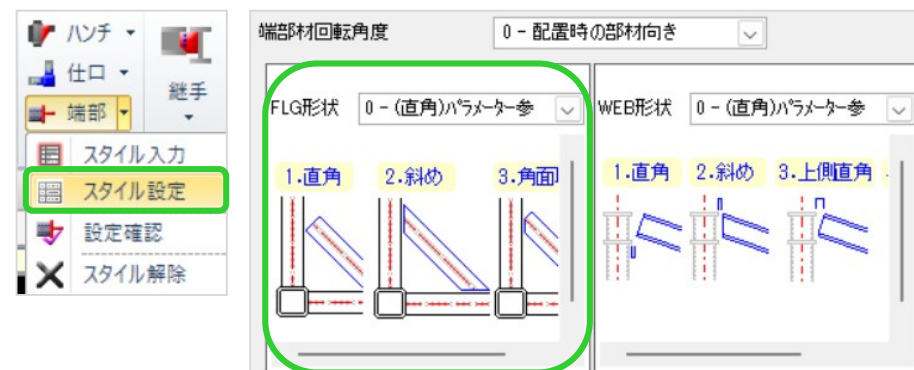
項目名称	設定値
43 梁フランジ端部	1- 直角
44 梁ウェブ端部(柱接続)	1- 直角
45 梁ウェブ端部(梁接続)	1- 直角
46 間柱フランジ端部	1- 直角
47 間柱ウェブ端部	1- 直角
48 片持ち梁先端	3- 上側直角



パラメーターを変更した場合、
勾配つきの片持ち梁など、ほかの斜めに取付く
梁端部の形状も変更されます。
端部形状を別にしたい場合は、端部スタイルを
使用して個別に設定してください。

<個別に設定したい場合>

【スタイル】 - 【端部】 - 【スタイル設定】 で設定します。



納めの向きが左右で異なった
場合は【梁】 - 【修正】 または
【継手】 - 【納め修正】 より
変更してください。

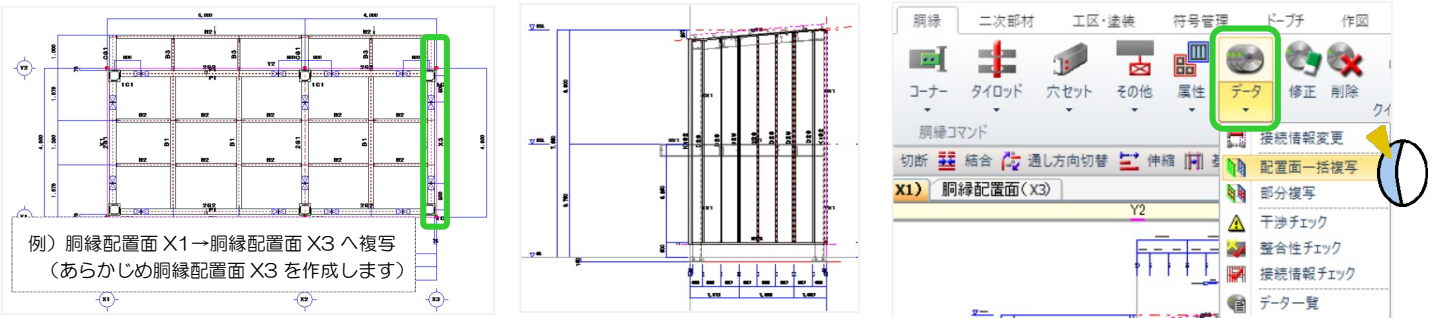
？ 胴縁を複写したい！（通常複写、反転複写）

【配置面一括複写】にて配置面ごとに複写が可能です。

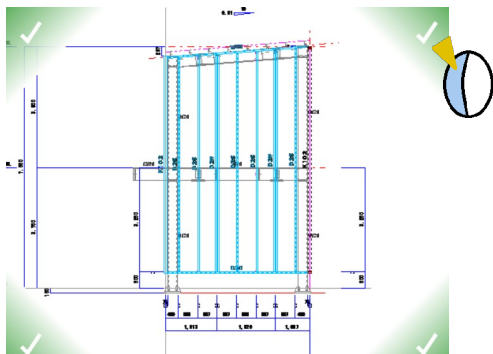
事前に胴縁を複写したい面に胴縁配置面を作成してください。

複写したい胴縁を配置した胴縁配置面を開きます。

【胴縁】 - 【データ】 - 【配置面一括複写】 をクリックします。



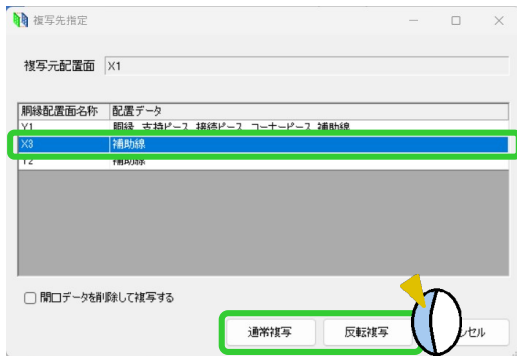
複写したい胴縁を選択し画面四隅にある☑ をクリックします。



複写先指定画面が起動します。

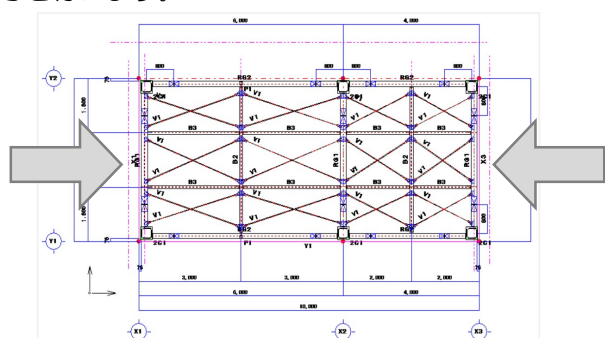
複写先になる胴縁配置面を選択し

【通常複写】 または **【反転複写】** をクリックします。

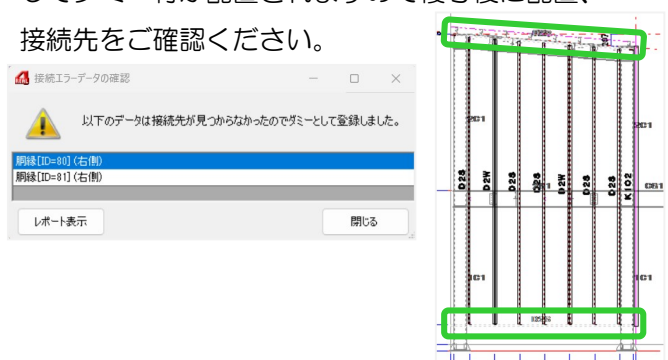


通常複写
 胴縁の配置データをそのままの方向で複写します。

反転複写
 胴縁の配置データの方向を反転して複写します。
 複写面の視野方向が反対の場合は**【反転複写】**にて複写を行います。



☑ 開口データを削除して複写する
 複写元配置面と複写先配置面で開口位置が異なる場合、『開口データを削除して複写する』にチェックを入れると、複写元にある開口データを削除した状態で胴縁のみを複写することが可能です。



❓ 梁伏図に母屋の断面寸法を貼り付けたい！

レイアウト編集で軸組図の母屋断面寸法を貼り付けることができます

他図面参照を使用すると、様々な図面を組み合わせることが可能です。

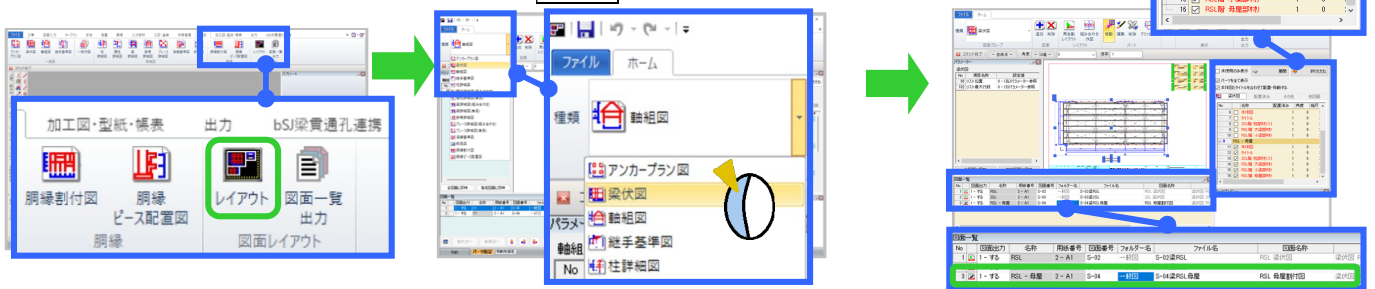
(母屋割付図に軸組図の母屋断面寸法、平屋のアンカープラン図と梁伏図の組み合わせ 等)

例) RSL 階母屋割付図に X1 通り軸組図の母屋断面寸法を貼り付ける場合

梁伏図と軸組図でそれぞれ母屋割付図を作図し、その後、梁伏図と軸組図を組み合わせます。

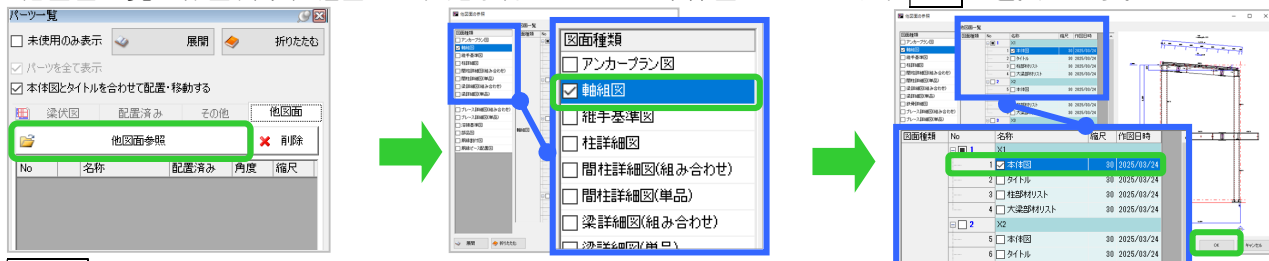
【作図】 - 【レイアウト】 をクリックします。種類をクリックし、梁伏図をクリックします。

RSL 梁伏図を表示した状態でパーツ一覧の他図面を選択します。



他図面参照をクリックし、軸組図に☑ を入れます。

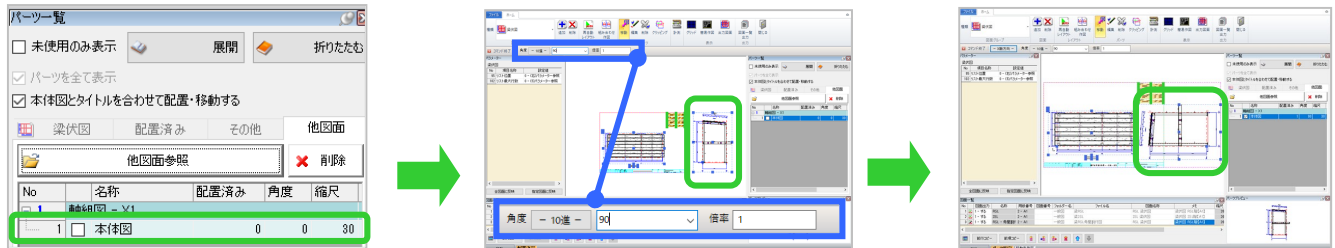
他図面一覧の作図済み軸組図から、貼り付けたい X1 本体図に☑ を入れ、OK を選択します。



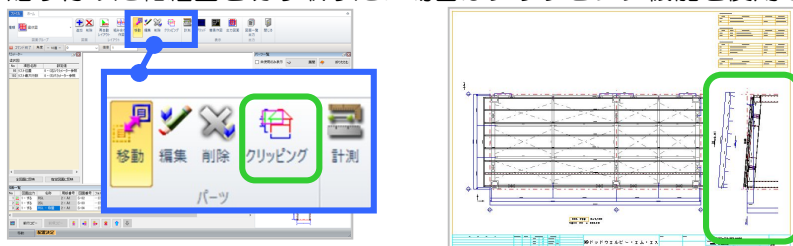
他図面に選択した軸組図-X1 本体図が表示されますので選択します。

角度を変更する場合は『角度』に数値を入力します。今回は 90 度回転を行いますので「90」と入力します。

倍率を変更したい場合は『倍率』を変更してください。配置したい位置をクリックし、配置します。



貼り付けた軸組図を切り取りたい場合はクリッピング機能を使用してください。



S/F 他図面から貼り付けた図面は編集ができません。
元の図面のレイアウト編集で編集をしてから貼り付けを行ってください。